

「BlockChain ワーキンググループ」新活動方針について

2019年4月29日

諸角 昌宏

本書は、BlockChain ワーキンググループ（以下、BlockchainWG と記述）の設立にあたって、その概要および活動方針を示す。

1. 目的

BlockChainWG は、CSA-JC ブロックチェーン／分散台帳ワーキンググループとして 2016 年 12 月 22 日にスタートした。スタートにあたっては、ブロックチェーン／分散台帳技術をベースにしたサービスは、グローバルでの選定基準が必要となることが容易に想定され、CSA 本部の Blockchain WG 及び IoT WG との連携を通じ、統一的な尺度にて、ブロックチェーン／分散台帳を保管するクラウド環境に関するガイドラインを定めることを目的とした。

その後、リーダーが WG に加われない状況となり、その状況下での活動として、CSA 本部の BlockchainWG のアウトプットに対して、WG 内でのディスカッションおよび日本語版の公開を目的として進めてきた。第 1 弾のアウトプットの「IoT セキュリティのためのブロックチェーン技術の活用」を 2018 年 10 月 2 日公開し、IoT をセキュアにするための Blockchain 技術の適用について、それまであまり日本において情報の無かった分野への有用な情報を提供することができた。

現在、Blockchain が様々な領域で利用されるようになってきたことを受けて、WG として新たな取り組みを進めるにあたって、BlockchainWG の活動を再定義し、今後の活動を加速させていきたい。

2. 活動方針

今までの CSA 本部の情報を日本に展開する活動に加えて、新たに、Blockchain 技術が有効に利用できる分野、ソリューションに焦点をあて、Blockchain の有効性の調査・研究を行っていく。これらは、BlockchainWG のサブグループとして活動する構成をとる。

現在想定されているのは以下の 2 つの分野になる。また、今後の WG の活動を通して新たな分野における検討を進めていく：

① アイデンティティにおける Blockchain の活用サブグループ

アイデンティティの領域にどのような形でブロックチェーンが活用できるかについて調査・研究を進める。特に、個人情報管理の課題の解決策の一つとしてブロックチェーンの役割が注目されている。いわゆる、自己主権型アイデンティティである。BlockchainWG では、ブロックチェーン技術が PDS や情報銀行などの受け皿となりうるかなどの調査・研究を行い、実ビジネスへの適用の課題などを議論していく。

② IoT における Blockchain の活用サブグループ

ブロックチェーンを用いて IoT システムをセキュアにする方法として CSA 本部が公開した”

Using Blockchain Technology to Secure the Internet of Things”（日本語版「IoTセキュリティのためのブロックチェーン技術の活用」）に基づいて、IoT 環境でのブロックチェーン技術の活用方法について議論する。

3. 活動計画

① 2018 年度末(2019/5/31)までの活動

まず、上記の 2 つのテーマに対して、関心のあるメンバーを集めることに注力する：

(1) 「アイデンティティにおける Blockchain の活用サブグループ」については、この分野で知見を持っている会員企業の NEC さんと共同で以下のセミナーを実施し、CSA ジャパンが取り組む Blockchain について説明し、メンバーを集める。本セミナーの実施計画は、次項を参照。

(2) 「IoTにおける Blockchain の活用サブグループ」については、この分野で知見を持っているアイビーシーさんと協調して進めていく。8 月後半に、先日会員企業情報として公開した「kusabi™ホワイトペーパー」に基づく勉強会を実施し、メンバーを集める。本勉強会の実施計画は、次項を参照。

② 2019 年度（2019/6/1～2020/5/31）の活動計画

①の活動を継続する。具体的な活動計画については、今後検討し、2019 年度計画に含める。

4. 開催予定セミナー、勉強会

① セミナー： デジタルアイデンティティセミナー～ 自己主権型アイデンティの潮流～（仮題）

- 実施時期： 7 月初旬
- 参加資格： 会員、非会員に限らずだれでも参加可能。CPE の付与無し。
- 参加費用： 無料
- 場所： 未定
- 想定講演
 - BlockchainWG、および、アイデンティティにおける Blockchain の活用サブグループ 活動方針
 - デジタルアイデンティティ概況
 - 自己主権型アイデンティと ERC725/735 概況
 - 実ビジネスを見据えた提案
 - パネルディスカッション

② 勉強会： kusabi™による IoT における Blockchain の活用(仮題)

- 実施時期： 8 月後半
- 参加資格、費用等は通常の勉強会と同じ
- 場所： 未定

- 想定講演
 - BlockchainWG、および、IoTにおけるBlockchainの活用サブグループ活動方針
 - kusabi™によるIoTにおけるBlockchainの活用詳細
 - Q&A

5. 設立時メンバー（敬称略）

- ① BlockchainWG 暫定リーダー： 諸角 昌宏
- ② サブグループリーダー： TBD
- ③ 初期メンバー： 宮川晃一、勝見 勉
- ④ 事務局： 諸角 昌宏

以上